

「トネマチ冬まつり」が開催されました！

昨年12月21日（土）、第2回「トネマチ冬まつり」が開催されました。会場となった役場イベントホールと玄関前広場では「スペシャルマルシェ」が開かれ、町内外から集まったハンドメイド雑貨店やフラワーショップ、キッチンカーなど20店舗以上が出店し賑わいを見せたほか、ホールの中央には畳とこたつが並べられた「こたつ亭みかん」と称したくつろぎスペースも出現。来場者は、こたつに入りながら町民の方々から寄付された美味しいみかんを味わっていました。

また、多目的ホールには懐かしいソフトクリームの電飾看板が無造作に立ち並び、不思議な空間を演出。布川神社臨時大祭のビデオ上映や射的、ヨーヨー釣りなども用意され、集まった子どもたちは、ちょっと変わった「冬まつり」の縁日を楽しんでいました。

そして、メインイベントでもある生演奏ライブ「とねジャム」では、バンドやギター弾き語り、バイオリン演奏など、さまざまなジャンルの音楽ステージが絶え間なく続き、その素敵な演奏とアットホームな雰囲気に来場者は顔をほころばせ、寒空の下、心も身体も温まるイベントとなりました。



天井にたなびくフラッグガーランドは、町民ボランティアや職員らが力を合わせ、1枚1枚手作りしたもの



「この冬まつりが、利根町が元気になる、利根町を好きになるキッカケになれば嬉しいです！」と話す実行委員会メンバーとさくら姫

これを見ないと新年は始まらない！新春恒例の消防出初式！



手に汗にぎる梯子乗り



各分団による機械器具点検

1月11日（土）、役場において、毎年恒例の消防出初式が挙行されました。

第1部は、観閲入場後中隊長の指揮により、機械器具の点検が実施され、各団員は素早い動きで点検を行い、万が一の時でも迅速に行動できるよう訓練を行いました。

第2部は、イベントホールにて式典が行われ、日本消防協会会長表彰など、長年活動を続けた消防団員、消防功労者等に対し、感謝状や表彰状が贈られました。

第3部は、駐車場で龍ヶ崎鷹職組合「若鷹会」による、梯子乗りなどの披露がありました。梯子乗りでは、頂上技や返り技などポーズを決めるごとに観客からは大きな歓声と拍手が贈られました。

今年も消防職団員の勇姿や、若鷹会による素晴らしい演技は圧巻でした。ぜひ、来年の出初式を見学してみたいはいかがでしょうか。

小学生に無償で『年賀はがき』を寄贈していただきました。



▲贈呈式に出席された川島郵便局長（右）、斎藤郵便局長（中央）、海老澤教育長（左）

スマートフォンやタブレットなどの電子機器の急激な普及により、手紙などによる連絡の取り合いからSNSを用いた方法が急増する中で、お正月に「年賀状のやりとり」を通じて、子どもたちに手紙の楽しみや喜びなどを体験してほしいという願いから、無償で寄贈していただきました。授業の中で日ごろお世話になっているご家族などへ感謝の気持ちを込めた年賀状を作成し、投函しました。

この「サンキュー♡年賀」（地域貢献型教育年賀）は、日本郵政（株）が事業を企画し、学校区内の事業所の賛同を受け成り立っています。

栄橋の渋滞緩和に向けて、若草大橋有料道路の早朝無料化を要望



▲左から龍ヶ崎市中山市長、河内町雑賀町長、茨城県議会坂本議員

昨年12月24日（火）、利根町、河内町、龍ヶ崎市の3首長連名で「利根川架橋『栄橋』及び『長豊橋』の渋滞緩和に向けた『若草大橋有料道路』の通勤時間帯の無料化等に関する要望書」

を大井川県知事に提出いたしました。

今回の要望は、町の長年の課題である栄橋の渋滞緩和策について、若草大橋有料道路の無料化が、最も効果的な手段と思われることから、平日早朝の2時間（6時～8時）の無料化実施を要望するもので、当日は、発起人である利根町 佐々木町長、河内町 雑賀町長、龍ヶ崎市 中山市長が出席し、大井川県知事に栄橋の渋滞の現状等を説明し、栄橋および長豊橋の渋滞緩和策に向け、県の理解と協力を求めました。

町の話題 PHOTO NEWS 広島平和記念式典 参加報告会で 派遣中学生6人が発表



1～2. 現地ガイドによる当時の話や、碑めぐりなど貴重な体験をすることができました。（広島市平和記念公園にて）



～平和へのメッセージ～

昨年12月4日（水）利根中学校体育館において、8月5日（月）・6日（火）の2日間で実施した広島平和記念式典派遣事業の参加生徒による報告会が開催されました。

報告会では、生徒達が心を込めて折った千羽鶴の奉納、広島平和記念資料館の見学、被爆体験者の講話、現地ガイドによる広島市平和記念公園内の碑めぐりについて、現地で撮影した写真をスクリーンで全校生徒に紹介し、参加生徒が分担して報告しました。このほか、「広島平和記念式典に参加して」と題し、参加者一人一人から平和へのメッセージの発表がありました。



平和へのメッセージ紹介

平和を守るために私達にできることは、戦争の辛さを忘れないことだと思います。

日本では戦争がなくても、まだ戦争をしている国はあります。なので、日本の平和主義を少しでも世界に広めていきたいです。

利根町立利根中学校 3年 小林 美咲さん



平和のために私達にできることは、戦争のことを多くの人に伝えることだと思います。だから、私は多くの人に伝えていこうと思います。

利根町立利根中学校 3年 石井 一輝さん



「戦争」や「核兵器」というもの、言葉をなくすために私たち一人一人が、互いの国や文化、歴史の違いを理解することが大切です。

また、この現実と被爆者の想いを若い人達で伝えていくことが平和へとつながっていくと思います。

利根町立利根中学校 2年 篠原 彩さん



私は原爆がどれくらい恐ろしいものかを言葉では聞いていたけど、実際想像がつかませんでした。ですが、広島に行って原爆について見たり聞いたりして改めて原爆のすごさや恐ろしさを知ることができました。

世界から「戦争」という2文字を消す。二度と多くの人が悲しまないように私たちが戦争の恐ろしさを次の世代に伝えようと思います。

利根町立利根中学校 2年 石山 双葉さん



「戦争」という2文字だけで非常につらく、苦しい現実を表しているとは思いませんでした。早く原爆がなくなること、早く戦争がなくなること、そして、被害にあわれた方たちの骨が遺族の方々に届くこと、心より願っております。

利根町立利根中学校 1年 永見 色音さん



広島に行って思ったのは、この原爆のことを未来に伝えることは大切だということです。未来に同じことを繰り返さないためにも伝えていこうと思います。

利根町立利根中学校 1年 小野 龍平さん

